

あいコープ放射能自主測定ニュース

No. 102

2013年12月1回

生産者の取り組み

—放射能対策をしています—

小川生薬（徳島県）

歴史と知恵から生まれた、体に優しく安全な商品を



生薬とは

植物・動物・鉱物など天然に存在する素材に加工を施し薬用に供し得るようにしたものの総称。徳島県は、全国有数の生薬(=薬用植物)生産県です。私どもの所在は四国のほぼ中心に位置し、吉野川が町の東西を横断し四国山地と讃岐山脈に囲まれた生薬製造業にとっては非常に恵まれた環境にあります。再生と持続が可能な原料である植物を活用し、生薬製造の歴史と知恵から生まれた、体に優しく安全な商品を皆様の生活の中に提案していこうと考えています。

原料のこだわり

小川生薬では、地元四国をはじめ日本国内に自生する生薬や漢方素材を原料の基本としています。その契約農家や採集場所へ弊社スタッフが自ら出向き環境状況や生産方法・採集方法の確認を年に1回行っています。一部の原料に関しましては無農薬の栽培を試みております。

確かな原料で、誠実に製造・加工を

弊社の製品は小さなお子さんや、妊娠中の女性などにも安心して飲んでいただいております。だからこそ安全性を確かめた原料を使い、誠実に製造・加工をしていきたいと考えています。

写真・文章は小川生薬より提供

小川生薬 <http://www.ogawasyouyaku.co.jp/index.html>

自主検査結果

小川生薬 HP より参照

検体名

はと麦・ハブ茶・大麦・どくだみ・柿の葉・びわの葉・浜茶・ごぼう・えのき・生姜・なた豆・ウーロン茶

セシウム 134 <0.98Bq/kg

セシウム 137 <0.71Bq/kg

採取日 2013/4/11

測定日 2013/4/19

測定方法

ゲルマニウム半導体スペクトロメトリを用いて、検体8gを800ccの熱湯で5分間煮出した抽出液を測定

検査体制

従来実施している200項目の残留農薬検査に加え、放射能検査も年1回の原料切替え時に行います。四国が主な原料産地になりますが、産地によらず今後も継続的に実施します。